

令和4年度久喜市スポーツ関連事業実績報告

第2期久喜市スポーツ推進計画
基本目標1 スポーツ活動の推進

※斜線部分は未実施事業もしくは中止となった事業です。

施策の体系	具体的施策	事業名	事業概要	実績報告	
				①期日②会場③募集人数④参加者数⑤内容	成果・課題
(1)スポーツ事業の充実	①スポーツイベント・教室等の開催・充実	久喜マラソン大会 (第8回) 担当課【スポーツ振興課】	市のスポーツ振興と市の認知度の向上を図るため、誰もが気軽に参加できるマラソン大会を実施する。	①令和5年3月26日(日) ②総合運動公園スタート・ゴール ③6,000人 ④2,455人 ⑤ハーフの部1,680人/クォーターの部294人/3kmの部204人/1.5kmの部137人/1.5km親子の部140人	コロナ禍や雨天の影響により参加人数が大幅に減少したが、4年ぶりに市内外から多くのランナーにご参加いただき、市のスポーツ振興と市の認知度の向上を図ることができた。雨天による開催であったため、ゴール付近のグラウンド状態が悪く、ゴール位置の変更や出店ブースの配置等の検討要望が挙げられたことから、それらの要望等の改善に向けて検討する必要がある。
		市民体育祭 (第68回) 担当課【中央公民館】	身近で行われる市民体育祭を通じて、市民にスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会の提供と地域コミュニティの連帯感を醸成することを目的として実施する。		
		くき健康ウォーク (第8回) 担当課【スポーツ振興課】	市民の健康と体力の増進を図るとともにコミュニティ意識を高め、心身ともに健康で心豊かなまちづくりを目指すため、くき健康ウォークを開催する。	①令和4年11月20日(日) ②栗橋地区(いきいき活動センターしずか館スタート・ゴール) ③300人 ④98人 ⑤栗橋地区をめぐる5kmコース、10kmコースをウォーキングした。	栗橋地区をめぐるウォーキングイベントを通じて、地域の魅力を感じてもらうとともに市民交流の促進と健康、体力の維持向上を図ることができた。毎年、地区を変えてコース設定をしていたが、参加者が定員に達しない状況であったことから、募集人数及び実施内容を検討していく必要がある。
		新体力テスト (平成22年度～) 担当課【スポーツ振興課】	市民の健康・体力づくりへの意識高揚を図るとともに、体力・運動能力に係る行政上の資料を得るため、握力、柔軟性、持久力などの6項目のテストを実施する。	①令和4年9月18日(日) ②鷺宮体育センター ③定員なし ④15人 ⑤【20～64歳】○握力○上体起こし○長座体前屈○反復横とび○20mシャトルラン○立ち幅跳び【65～79歳】○握力○上体起こし○開眼片足立ち○10m障害物歩行○6分間歩行 終了後、測定結果を個人へ配布した。	市民の健康・体力づくりへの意識高揚を図るとともに、個人の年齢おいての体力・運動能力を把握、認識することができた。課題として、市民の多くの方に参加いただけるよう周知、呼びかけを行っていく必要がある。
		ハイキング (平成22年度～) 担当課【スポーツ振興課】	市民の運動習慣のきっかけ作りの一環として、景色などを楽しみながら参加できるハイキングを実施する。		
		ポール・ウォーク体験 (平成27年度～) 担当課【スポーツ振興課】	市民の運動習慣のきっかけ作りの一環として、ポールを用いて気軽に参加できるウォーキングを実施する。	①令和4年11月6日(日) ②鷺宮総合支所から加須はなさき水上公園まで ③20人 ④6人 ⑤鷺宮総合支所から加須はなさき水上公園までの往復約8kmのコースにてウォーキングを実施した。	ウォーキングを通じて、市民交流の促進と健康、体力の維持向上が図られた。参加人数が少ない原因については、コロナ禍による影響もあるが、個人でウォーキングを楽しむ方が増えたことも原因であると考えられる。イベントのあり方を見直し、時流に即した方法を模索する必要がある。

施策の体系	具体的施策	事業名	事業概要	実績報告	成果・課題
				①期日②会場③募集人数④参加者数⑤内容	
(1)スポーツ事業の充実	①スポーツイベント・教室等の開催・充実	フェンシング×サッセン体験イベント (令和3年度～) 担当課【スポーツ振興課】	市民がスポーツに親しむきっかけを創出し、スポーツの活性化を図るためスポーツ体験イベントを実施する。	①令和4年5月28日(土) ②モラージュ菖蒲 ③40人 ④参加者43人 ⑤第1部では、フェンシング日本代表選手らによるオリンピックに出場した際の体験談やフェンシング、サッセンの見どころ解説、実演を行った。第2部では、参加者がフェンシングやサッセンの体験を行った。	スポーツイベントを通じて、フェンシング等を体験し身近に感じることができた。また、トップレベルの選手に直接触れ合うことにより、競技への関心を高めるとともに、スポーツに親しむきっかけづくりを提供することができた。
		ふれあいスポレク・フェスタ (平成22年度～) 担当課【スポーツ振興課】 (主催:スポーツ推進委員協議会)	障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図るとともに、参加者の交流を深めるため、ポッチャをはじめとするスポーツ・レクリエーションを楽しむイベントを実施する。	①令和4年12月4日(日) ②久喜南中学校 体育館 ③定員なし ④16人 ⑤障がい者の方も楽しめるポッチャ、卓球バレー、スカットボールなどの6種目を用意し、スポーツレクリエーションを体験する機会の提供を行った。	障がいの有無に関わらず、誰でも参加できるスポーツ・レクリエーションを体験することで、スポーツに親しむとともに、市民相互の交流を深めることができた。
		なわとびフェスタ (平成22年度～) 担当課【スポーツ振興課】 (主催:スポーツ推進委員協議会)	市民の健康づくり・体力向上及び交流を図るため、気軽に参加できるなわとびフェスタを実施する。	①令和5年2月11日(土) ②毎日興業アリーナ 久喜 メインアリーナ ③定員なし ④延べ118人 ⑤親子跳びと名人(前跳び、後ろ跳び、あや跳び、二重跳びの4種目)	なわとびを通じて、市民の健康づくり・体力向上及び交流を図ることができた。コロナ禍の影響で種目数を減らしたため、参加人数が減少したことから、次回は通常の種目に戻すことを検討する。
		卓球体験イベント (新規) (共催) 担当課【スポーツ振興課】	競技の普及啓発及び子どもたちのスポーツへの関心を高めるため、プロ卓球チーム「T.T彩たま」と連携し、商業施設で体験イベントを実施する。	①令和5年2月4日(土) ②モラージュ菖蒲3F トイザらス前 ③定員なし ④49人 ⑤卓球台を設置し、片方にお菓子を置いてピンポン球を当てたらもらえるという内容	卓球を気軽に体験でき、かつプロチームのスタッフによるアドバイス等が受けられることから、2時間という短時間のイベントながら、多くの来場者に体験いただくことができた。
		卓球体験レッスン (新規) (共催) 担当課【スポーツ振興課】	子どもたちの競技力向上を目的として、プロ卓球チーム「T.T彩たま」と連携し、市内中学校の卓球部生徒を対象とした、プロコーチによる体験レッスンを開催する。	①令和5年2月6日(月) ②毎日興業アリーナ久喜メインアリーナ ③定員なし ④28人 ⑤プロコーチによる体験レッスン会	市内中学校の卓球部員28名が集まり、実技を交えたプロコーチの体験レッスンを受けることで、更なる意欲の向上につながった。
	②地域活性化につながるスポーツイベントの開催	市民体育祭 ※再掲 (第68回) 担当課【中央公民館】	身近で行われる市民体育祭を通じて、市民にスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会の提供と地域コミュニティの連帯感を醸成することを目的として実施する。		
		3x3 KUKI HIGH SCHOOL CHAMPIONSHIPS (新規) (共催) 担当課【スポーツ振興課】	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会より正式種目となり、久喜高校が日本一になったことがある3x3バスケットボールについて、市内に専用コートが設置されることから、機運醸成を図るため、高校生によるトーナメント方式のイベントを商業施設で開催する。	①令和4年10月22日(土) ②モラージュ菖蒲駐車場H ③定員なし ④64名(4×16チームで男女それぞれ8チーム) ⑤市内5つの高校が参加してのトーナメント戦、中学生以下の当日来場者を対象としたシュートチャレンジ大会、プロチームによるバスケクリニック、高校生による会場周辺ゴミ拾い、高校生によるフードドライブを実施した。	商業施設で開催したことによる宣伝効果があり、利用者の観覧や、高校生によるゴミ拾い、フードドライブといったSDGs要素など、賑わいあるイベントとなった。また、プロチームによる子どもたちへのバスケクリニックや高校生による3x3の試合により、機運醸成は図られたと考える。今後はイベントに「食」の要素を入れる事で更なる来場者の獲得と、日常的に3x3に親しめるミニイベント(バスケット教室など)を実施していく必要がある。

施策の体系	具体的施策	事業名	事業概要	実績報告	
				①期日②会場③募集人数④参加者数⑤内容	成果・課題
(2)子どものスポーツ活動の推進	①幼児期におけるスポーツ活動の推進のための連携	体育事業(バドミントン) (平成22年度～) 担当課 【子ども未来課】	地域の児童の健全な遊び場として、心身ともに豊かで健康な子どもたちの育成を目指す。	①令和4年5月7日(土) ②久喜市立児童センター ③定員なし ④2人 ⑤バドミントンを楽しむ	スポーツを通じて、体を動かすことの楽しさを味わいながら、参加者間の交流や体力の増進を図ることができた。
		体育事業(卓球) (平成22年度～) 担当課 【子ども未来課】	地域の児童の健全な遊び場として、心身ともに豊かで健康な子どもたちの育成を目指す。	①令和4年11月12日(土) ②久喜市立児童センター ③定員なし ④4人 ⑤卓球を楽しむ	スポーツを通じて、体を動かすことの楽しさを味わいながら、参加者間の交流や体力の増進を図ることができた。
		体育事業(ドッジボール) (平成22年度～) 担当課 【子ども未来課】	地域の児童の健全な遊び場として、心身ともに豊かで健康な子どもたちの育成を目指す。	①令和5年1月28日(土) ②久喜市立児童センター ③定員なし ④ - ⑤ドッジボールを楽しむ	スポーツを通じて、体を動かすことの楽しさを味わいながら、参加者間の交流や体力の増進を図ることができた。
		体育事業(大縄跳び) (平成22年度～) 担当課 【子ども未来課】	地域の児童の健全な遊び場として、心身ともに豊かで健康な子どもたちの育成を目指す。	①令和5年3月25日(土) ②久喜市立児童センター ③定員なし ④ - ⑤大縄跳びを楽しむ	スポーツを通じて、体を動かすことの楽しさを味わいながら、参加者間の交流や体力の増進を図ることができた。
		ミニ運動会 (平成27年度に合同運動会、 H28以降は各地区にて実施) 担当課 【子ども未来課】	子育て中の親子が気軽に立ち寄り、子どもたちが安全に楽しく遊びながら健全に成長できる場を提供する。	①令和4年10月7日(久喜) 令和4年10月14日(栗橋) 令和4年 9月29日(鷲宮) ②東公民館(久喜) 栗橋コミュニティセンター(栗橋) 鷲宮地域子育て支援センター園庭 ③親子15組、親子15組、親子16組 ④親子36人(久喜)親子33人(栗橋) 親子38人(鷲宮) ⑤かけっこ、障害物競走、体操等	久喜地域子育てセンター、栗橋地域子育てセンター、鷲宮地域子育てセンターで各種事業を行うことにより、参加者間の交流や子育て家庭への支援を図ることができた。
		親子ストレッチ (ヨガ、フィットネス等) (新規(毎年度事業内容を検討)) 担当課 【子ども未来課】	子育て中の親子が気軽に立ち寄り、子どもたちが安全に楽しく遊びながら健全に成長できる場を提供する。	①令和4年11月16日(久喜) 令和4年6月18日(栗橋) 令和4年10月19日(栗橋) 令和4年5月12日(鷲宮) ②東公民館(久喜) 栗橋コミュニティセンター(栗橋) 栗橋地域子育て支援センター 鷲宮地域子育て支援センター ③親子15組(久喜) 親子7組、親子7組(栗橋) 親子9組(鷲宮) ④親子16人(久喜) 親子20人(栗橋) 親子11人(栗橋) 親子20人(鷲宮) ⑤ヨガ、ストレッチフィットネス等	久喜地域子育てセンター、栗橋地域子育てセンター、鷲宮地域子育てセンターで各種事業を行うことにより、参加者間の交流や子育て家庭への支援を図ることができた。

施策の体系	具体的施策	事業名	事業概要	実績報告	
				①期日②会場③募集人数④参加者数⑤内容	成果・課題
(2) 子どものスポーツ活動の推進	① 幼児期におけるスポーツ活動の推進のための連携	親子リズム・運動遊び (新規(毎年度事業内容を検討)) 担当課 【子ども未来課】	子育て中の親子が気軽に立ち寄り、子どもたちが安全に楽しく遊びながら健全に成長できる場を提供する。	① 令和5年1月13日(栗橋) 令和5年1月18日(鷺宮) ② 栗橋地域子育て支援センター 鷺宮地域子育て支援センター ③ 親子10組(栗橋) 親子15組(鷺宮) ④ 親子9人(栗橋) 親子28人(鷺宮) ⑤ サーキット遊び、リトミック遊び等	栗橋地域子育てセンター、鷺宮地域子育てセンターで各種事業を行うことにより、参加者間の交流や子育て家庭への支援を図ることができた。
	② スポーツに親しむことができる機会の確保	放課後子ども教室推進事業 (ゆうゆうプラザ) (平成17年度～) 担当課 【生涯学習課】	放課後や週末等に小学校の施設等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、様々な生涯学習に携わる地域住民の協力のもと、子どもたちに、勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	① 令和4年6月～令和5年2月 ② 市内各小学校他 ③ 定員なし ④ 2,611人(スポーツ以外の講座も含む) ⑤ ダンス、グラウンドゴルフ、ドッジボール、ミニテニス、ティーベースボール、バドミントン、フロアカーリング、ポッチャ、バスケットボール、ソフトバレーボール、サッカー等	すべての小学校で、スポーツに関する講座を開講しました。ポッチャについては久喜市ポッチャ協会、フロアカーリングについては久喜市スポーツ推進委員の協力のもと、実施することができた。
(3) 成人のスポーツ活動の推進	① 親子スポーツ事業の実施・充実	久喜マラソン大会 ※再掲 (第8回) 担当課 【スポーツ振興課】	市のスポーツ振興と市の認知度の向上を図るため、誰もが気軽に参加できるマラソン大会を実施する。	① 令和5年3月26日(日) ② 総合運動公園スタート・ゴール ③ 6,000人 ④ 2,455人 ⑤ ハーフの部1,680人/クォーターの部294人/3kmの部204人/1.5kmの部137人/1.5km親子の部140人	市内外から多くのランナーにご参加いただき、市のスポーツ振興と市の認知度の向上が図ることができた。 雨天による開催であったため、ゴール付近のグラウンド状態が悪く、ゴール位置の変更や出店ブースの配置等の検討要望が挙げられたことから、それらの要望等の改善に向けて検討する必要がある。
	② 気軽に実施できるスポーツの機会の確保	健幸づくり運動教室 ※他地区保健センターを含む (新規) 担当課 【中央保健センター】	健幸づくり運動教室を実施することにより、当該教室参加の他、がん検診等健康増進事業等に参加した方にインセンティブ(景品)を付与することで市民の健康寿命の延伸を図る。	【1コース】 ① 令和4年9月1日(木)、10月7日(金)、11月15日(火) ② 1日目:中央保健センター、2日目以降:西公民館 ③ 25人 ④ 実人数11人、延べ人数27人(現状値) ⑤ 1日目:栄養講座、2・3日目:筋トレ、ストレッチ、ウォーキング等 【2コース】 ① 令和4年9月12日(月)、10月17日(月)、11月14日(月) ② 栗橋保健センター ③ 25人 ④ 実人数25人、延べ人数67人(現状値) ⑤ 1日目:栄養講座、2・3日目:筋トレ、ストレッチ、ウォーキング等	知識の普及、情報提供及び適切な指導を行うことにより健康意識の向上と生活習慣の改善を促すことができた。
		健康マイレージ事業 (平成29年度～) 担当課 【中央保健センター】	楽しみながら健康づくりができる埼玉県コバトン健康マイレージに参加し、市民の健康増進を図る。	① 令和4年4月1日～令和5年3月31日 ② ー ③ 定員なし ④ 2,838人(10月末日現在) ⑤ 埼玉県コバトン健康マイレージに参加していた方法として、歩数計またはアプリで参加。歩いた歩数でポイントが付き、そのポイントで競い、抽選で景品がもらえる。	埼玉県コバトンマイレージ事業に参加し、市民の健康づくりに役立てることができた。

施策の体系	具体的施策	事業名	事業概要	実績報告	
				①期日②会場③募集人数④参加者数⑤内容	成果・課題
(3) 成人のスポーツ活動の推進	②気軽に実施できるスポーツの機会の確保	生涯学習出前講座 (平成22年度～) 担当課 【生涯学習課】	市民の方が講座メニューの中から学びたいものを選んで申し込むと、指定された場所へ講師が出向いてお話をする生涯学習出前講座を実施する。	① - ※申し込みなし ② - ③定員なし ④ - ⑤スポーツ振興課「ニュースポーツ講座」…フロア・カーリングなどのニュースポーツを気軽に実技体験	コロナ禍の影響もあり、ここ数年実施件数が減少しているため、市民向けの公開講座を実施し、市民や学校等へ生涯学習出前講座の周知を図っていくとともに、魅力ある講座メニューについて、引き続き検討していく。
(4) 高齢者のスポーツ活動の推進	①身近な地域での健康・体づくり活動の支援	健幸づくり運動教室 ※再掲 (平成29年度～) 担当課 【中央保健センター】	健幸づくり運動教室を実施することにより、当該教室参加の他、がん検診等健康増進事業等に参加した方にインセンティブ(景品)を付与することで市民の健康寿命の延伸を図る。	【1コース】 ①令和4年9月1日(木)、10月7日(金)、11月15日(火) ②1日目:中央保健センター、2日目以降:西公民館 ③25人 ④実人数11人、延べ人数27人(現状値) ⑤1日目:栄養講座、2・3日目:筋トレ、ストレッチ、ウォーキング等 【2コース】 ①令和4年9月12日(月)、10月17日(月)、11月14日(月) ②栗橋保健センター ③25人 ④実人数25人、延べ人数67人(現状値) ⑤1日目:栄養講座、2・3日目:筋トレ、ストレッチ、ウォーキング等	知識の普及、情報提供及び適切な指導を行うことにより健康意識の向上と生活習慣の改善を促すことができた。
		フレイル予防講座 (新規) (連携) 担当課 【中央公民館、スポーツ振興課、高齢者福祉課】	中高年齢者を主な対象として、民間事業者と連携したフレイル予防講座を開催することで、知識を身に付けていただく	①令和5年1月19日 ②中央公民館 ③20人 ④11人 ⑤前半は高齢者福祉課によるフレイル予防の基礎講座を、後半は明治安田生命相互保険会社による実技を交えた応用的な講座を実施した。	フレイル予防に関する様々な知識を、行政、民間企業の視点から解説することで、多面的な角度からの知識を身に付けていただくことができた。
(5) 誰もが参加できるパラスポーツの推進	①障がいの有無に関わらず気軽に参加できるスポーツイベントの実施	ふれあいスポレク・フェスタ ※再掲 (平成22年度～) 担当課 【スポーツ振興課】	障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図るとともに、参加者の交流を深めるため、ポッチャをはじめとするスポーツ・レクリエーションを楽しむイベントを実施する。	①令和4年12月4日(日) ②久喜南中学校 体育館 ③定員なし ④16人 ⑤障がい者の方も楽しめるポッチャ、卓球バレー、スカットボールなどの6種目を用意し、スポーツレクリエーションを体験する機会の提供を行った。	障がいの有無に関わらず、誰でも参加できるスポーツ・レクリエーションを体験することで、スポーツに親しむとともに、市民相互の交流を深めることができた。
	②障がいの有無に関わらず気軽に参加できるスポーツイベントの支援	パラスポーツの支援 (新規) 担当課 【スポーツ振興課】	パラスポーツ競技活動を支援するため、活動場所の提供や市広報紙の掲載等により支援する。	市ポッチャ協会の活動支援、連携を図り、R5実施に向けてポッチャ体験イベントを企画した。また、埼玉県初級障がい者スポーツ指導員養成講習会開催にあたり協力を行った。 実施日:11月20日(日)、26日(土)、12月4日(日)、24日(土) 参加者:26人	会場優先予約などによる活動場所の提供や市広報紙の掲載等を行うことによりパラスポーツ競技の推進及び指導者の育成を支援することができた。
(6) 競技スポーツの推進	①スポーツ競技大会出場選手奨励金	スポーツ競技大会出場選手奨励金 (平成22年度～) 担当課 【スポーツ振興課】	市における各種運動競技の振興を図るため、国際大会、全日本選手権大会等へ出場する市民等(個人または団体)に対し、大会に出場する個人または団体へ奨励金を交付する。	①令和4年4月～令和5年3月まで ②窓口:スポーツ振興課 ③交付決定件数:33件 ④全国大会等に出場した市内在住・在勤・在学者へ奨励金を交付した。	スポーツ・レクリエーション大会及びスポーツ体験会等の開催並びに全国大会等に出場する個人等に奨励金を交付し、各種スポーツ競技の振興を図ることができた。

施策の体系	具体的施策	事業名	事業概要	実績報告	
				①期日②会場③募集人数④参加者数⑤内容	成果・課題
(6)競技スポーツの推進	②広報及び表彰	表敬訪問 (平成22年度～) 担当課 【スポーツ振興課】	日本代表として国際大会に出場した選手や国民体育大会等において優秀な成績を収めたアスリートの活躍を広く市民に周知する。	①令和4年4月～令和5年3月まで ②窓口:スポーツ振興課 ③表敬訪問件数:4件 ④国際大会等に出場した選手の方を市長室にお招きし、その様子を広報に掲載した。	国民体育大会等において優秀な成績を収めたアスリートの活躍を広く市民に周知することができた。
		各種スポーツ・レクリエーション団体表彰 (平成22年度～) 担当課 【スポーツ振興課】	市スポーツ協会及び市スポーツ少年団の活動において、優秀な成績を修められた個人及び団体や指導活動に貢献された指導者を表彰する。	各総会において、対象者を表彰した。	優秀な成績を修められた個人及び団体や指導活動に貢献された指導者の活躍により、スポーツレクリエーションの推進を図ることができた。

基本目標2 学校等における体育・スポーツ活動の充実

施策の体系	具体的施策	事業名	事業概要	実績報告	
				①期日②会場③募集人数④参加者数⑤内容	成果・課題
(1)学校等における運動の充実	①運動が好きな子ども の育成と体育的活 動の実施・充実	健康な体づくり指導 (平成22年度～) 担当課 【指導課】	新体力テストの分析結果に基づき、体力の向上を学校の教育活動の中の大きな柱と位置付け、学校教育目標の具現化とともに、業前や業間の時間を有効活用して教育活動全体で体力の向上に取り組む。	①令和4年9月15日(木) ②各学校(オンライン) ③定員なし ④36名 ⑤令和4年度の新体力テストの結果の分析及び課題の共有と課題解決に向けた協議会を実施した。	市内小中学校の体育担当教諭による協議会を実施し、令和4年度の新体力テストの結果をもとに、市全体及び各学校の体力の課題について共有した。また、課題解決に向けた効果的な取り組みについて共有することで、各学校の体育活動の充実を推進することができた。
	①運動が好きな子ども の育成と体育的活 動の実施・充実	体力向上の推進 (平成22年度～) 担当課 【指導課】	市内小・中学校において授業研究会を実施し、体力向上へ向けた授業改善を行う。	①令和4年12月 ②久喜市立本町小学校 ③定員なし ④- ⑤久喜市教育委員会が委嘱した「体力向上」に関する研究の取り組みについて、本町小学校が市内小中学校に向けて紙上発表した。	研究主題を「生涯にわたって健康を保持し増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための小学校体育のあり方」～する・見る・支える・知る～、とし、児童が自己の目的に応じてITCを活用し、自他の動きや思考を確認・共有することで学びを深めていた。
	②運動の機会を増やし 体力を高める取組 の実施	体力向上推進委員会 (平成22年度～) 担当課 【指導課】	市内小中学校の体育担当教員及び養護教諭、保健主事、栄養教諭が委員となる体力向上推進委員会において、指導者を招聘し、オンラインによる体育授業及び健康の保持増進に関する講義を実施する。	①令和4年9月29日(木) ②久喜市立鷲宮小学校+オンライン ③定員なし ④42名 ⑤鷲宮小学校において研究授業及び研究協議会を実施した。また、県立総合教育センターより指導者を招聘し指導講評をオンラインで各学校へ配信した。	体力向上推進委員会を通して、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善の方法や、体育の資質・能力を効果的に育むためのICTの効果的な活用について理解を深めることができた。
(2)運動部活動の充実	①部活動指導員など 民間のスポーツ資源 の活用	-	中学校の部活動の指導や、大会等への引率を行う部活動指導員の配置を進める。市内小中学校児童生徒の学習活動の補助、運動部活動の指導補助、部活動等の大会参加における保護者の負担軽減を図る。	①- ②- ③定員なし ④運動部5名 ⑤市内中学校において部活動の指導、大会や練習試合の引率・指導等を実施した。	部活動指導員の配置により、技術指導等で専門的な指導が行われ、活動が充実したことに加え、教員や保護者の負担を軽減することができた。

基本目標3 豊かなスポーツライフを支える環境づくり

施策の体系	具体的施策	事業名	事業概要	実績報告	
				①期日②会場③募集人数④参加者数⑤内容	成果・課題
(1)公共スポーツ施設の充実	①指定管理者制度による スポーツ施設の管理運 営	体育施設管理事業 (平成22年度～) 担当課 【スポーツ振興課】	指定管理者制度によるスポーツ施設の管理運営を行う。	指定管理者制度を導入し、スポーツ施設の適正かつ効率的な管理運営に努めた。また、指定管理者と協議を行いながら、必要な修繕等を実施した。	民間企業のノウハウを生かし、スポーツ施設の適切な維持管理と効果的な運営を行うことができた。

施策の体系	具体的施策	事業名	事業概要	実績報告	
				①期日②会場③募集人数④参加者数⑤内容	成果・課題
(1) 公共スポーツ施設の充実	②ユニバーサルデザイン化の推進	—	—	—	—
	③スポーツ施設の新設の検討	総合運動公園施設整備事業(新規) 担当課【スポーツ振興課】	総合運動公園の今後の各施設のあり方を検討し、再整備を行う。	久喜市総合運動公園基本計画及び基本設計修正業務委託において施設配置等の修正案を作成している。	老朽化により休止中となっている市民プールに替わる新たなスポーツ施設として、近年人気の高まっているスケートボード場や3X3バスケットボール場等の整備を盛り込んだ計画を策定することができた。
(2) スポーツ活動が可能な場の有効活用	①学校体育施設の利用	学校体育施設開放事業(平成22年度～) 担当課【スポーツ振興課】	市民のスポーツ・レクリエーション活動の場の確保を図るため、小中学校の校庭及び体育館を市民に開放する。	①令和4年4月～令和5年3月まで ②窓口: スポーツ振興課 ③利用団体数: 219団体 ④市内在住・在勤・在学する方で、10人以上で構成する団体に学校体育施設を開放する。 また、学校体育施設開放事業に必要な施設の修繕を実施し、市民の利用を推進する。 修繕実施件数 7件	各団体にスポーツ・レクリエーション活動の場を提供することにより、健康の保持増進と体力の維持向上に寄与することができた。 また、施設の修繕を行ったことにより、利用者が安心して快適に利用することができた。
	②身近な施設などの活用	観光情報発信事業(平成28年度～) 担当課【久喜ブランド推進課】	観光ウォーキングコースの普及	①通年 ②市内全域 ③定員なし ④— ⑤市内公共施設や商業施設に観光ウォーキングマップを配架する他、市HPにウォーキングモデルコースを掲載し周知した。	市の観光情報を広く内外に発信することができた。
(3) スポーツにおける安全対策	①スポーツの安全に関する取組・施設の安全対策	体育施設管理事業 ※再掲(平成22年度～) 担当課【スポーツ振興課】	指定管理者制度によるスポーツ施設の管理運営を行う。	指定管理者制度を導入し、スポーツ施設の適正かつ効率的な管理運営に努めた。 また、指定管理者と協議を行いながら、必要な修繕等を実施した。	市民がスポーツ施設を安全で快適に利用できるように維持管理することができた。
		AEDの設置・貸し出し(平成21年度～) 担当課【健康医療課・施設所管課】	市内公共施設にAEDを設置するほか、AEDの貸し出しを行う。	・公共施設におけるAED設置台数135台 ・AEDの貸し出し件数 12件	公共施設にAEDを設置し、適切に維持管理を行うとともに、スポーツ大会や行事などを主催する市民団体等に対し、AEDの貸し出しを行うことで、救命処置が必要となる緊急時に備えることができた。
	②スポーツにおける感染症対策の取組	生涯スポーツ推進事業(令和2年度～) 担当課【スポーツ振興課】	スポーツ・レクリエーション事業における感染症対策として検温やアルコール消毒、使用備品の消毒液等を行う。	市主催のスポーツ・レクリエーション事業において、随時、参加者及び協力者の検温やアルコール消毒等による感染症対策を行った。	参加者への検温やアルコール消毒等を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら各種スポーツイベントを開催することができた。
学校体育施設開放事業 ※再掲(平成22年度～) 担当課【スポーツ振興課】		学校体育施設開放事業における感染症対策として、検温やアルコール消毒、使用備品の消毒等を行う。	学校体育施設開放事業における施設利用者の検温やアルコール消毒等による感染症対策を行うよう周知した。 また、使用後の備品を消毒するよう併せて周知した。	検温やアルコール消毒、使用備品の消毒等を実施を促しながら、利用団体のスポーツ・レクリエーション活動の場を提供することにより、健康の保持増進と体力の維持向上に寄与することができた。	

施策の体系	具体的施策	事業名	事業概要	実績報告		成果・課題
				①期日②会場③募集人数④参加者数⑤内容		
(4)関係スポーツ団体の支援	①スポーツ協会・レクリエーション協会・スポーツ少年団の支援	スポーツ・レクリエーション団体補助事業 (平成22年度～) 担当課 【スポーツ振興課】	スポーツ・レクリエーション団体等の活動を支援し、市民の体力増進とスポーツ・レクリエーション活動の普及及び振興を図る。	【補助金】 スポーツ協会 4,510,000円 スポーツ少年団本部 1,530,000円 レクリエーション協会 330,000円		各種スポーツ・レクリエーション団体等の活動を支援することにより、市民の体力増進とスポーツ・レクリエーションの振興に寄与することができた。
	②総合型地域スポーツクラブの育成・支援	総合型地域スポーツクラブの育成・支援 (平成22年度～) 担当課 【スポーツ振興課】	地域住民のスポーツ活動の場として定着し、継続的な活動に取り組めるよう、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。	市広報紙や市ホームページにおいて、団体活動を掲載し、広く総合型地域スポーツクラブの活動を周知した。 市内にある総合型地域スポーツクラブ ・スポーツコミュニティ久喜 ・サンワ×エナジークラブ久喜支部		総合型地域スポーツクラブの育成・支援を推進することができた。 引き続き、体制を強化するとともに市民が気軽に参加できるスポーツの場として、持続的な運営のための支援を行っていく必要がある。
(5)指導者の育成・支援	①スポーツ推進委員の活用	スポーツ推進委員の活動促進 (平成22年度～) 担当課 【スポーツ振興課】	地域のスポーツ活動の指導者として、スポーツ推進委員の積極的な活用を推進するとともに、指導者としての資質向上を図る。	スポーツ・レクリエーションイベントや公民館事業等において、スポーツ推進委員が指導を行った。 派遣件数:5件(延べ27人) 協力件数:5件(延べ65人) 全国や県等の研修会に参加した。 全国大会:1件(延べ3人) 県研修会:2件(延べ4人) 埼葛地区:5件(延べ26人)		各種スポーツ・レクリエーションイベントにスポーツ推進委員を派遣することにより、活動の活性化に繋げることができた。 また、研修を行うことにより、スポーツ推進委員活動の資質向上が図ることができた。
	②スポーツ指導者の育成・活躍の場の創出	はつらつ運動教室指導者養成事業 (平成18年度～) 担当課 【高齢者福祉課】	65歳以上の高齢者を対象にしたはつらつ運動教室で活動するボランティアリーダー(はつらつリーダー)を養成する。	①令和4年9月30日～令和5年2月17日 ②鷲宮東コミュニティセンター、他 ③30人 ④12人 ⑤65歳以上の高齢者を対象にしたはつらつ運動教室で活動するボランティアリーダー(はつらつリーダー)を養成する。		令和3年度よりも、参加者数を増やすことができたが、募集定員をみたさなかった。参加者数を増やし、新規はつらつリーダーを増やしていくことが課題である。
(6)多様なスポーツ活動の推進	①スポーツ情報の積極的な発信	スポーツ活性化事業 (令和2年度～) 担当課 【スポーツ振興課】	市民がスポーツに親しみきっかけを創出することで、市民のスポーツへの関心を高め、市のスポーツ活性化につなげる。	市ホームページや公式SNS、広報紙等に、スポーツ関連情報を掲載する。また、動画を積極的に活用した情報発信も実施する。 <参考-2023.3.31現在のフォロワー数> ・公式インスタグラム 227名 ・公式スポーツ動画チャンネル 77名		スポーツイベント情報を都度掲載することで、多くの方に情報発信を行うことができた。
	②スポーツ観戦・応援の推進	スポーツ観戦・応援の推進 (令和2年度～) 担当課 【スポーツ振興課】	スポーツ・レクリエーションイベント等に参加するだけでなく、観戦や応援などの多様な関わり方を通してスポーツに親しみきっかけづくりを推進する。	市ゆかりのアスリートが国際大会に出場する際には、公共施設等に横断幕・懸垂幕を掲出する方法で応援を行った。 ○青木涼真選手世界陸上出場懸垂幕及び横断幕の掲出 ①令和4年7月12日～25日 ②本庁舎及び東鷲宮駅		庁舎だけでなく、市民の目につきやすい駅に掲示したことで、多くの方に周知できたとともに、関心を持って見てもらうことができた。
(7)スポーツ推進審議会への諮問	—	スポーツ推進審議会の開催 (平成27年度～) 担当課 【スポーツ振興課】	市民のニーズ等を受け、スポーツに関する課題等を洗い出し、スポーツ推進審議会に意見を伺い、本市のスポーツ推進を図る。	第1回:令和4年9月27日 (1)令和4年度スポーツ関連事業計画について 第2回:令和4年12月21日 (1)令和4年度スポーツ関連事業中間報告について (2)総合運動公園基本計画の修正案について		スポーツに関する課題等を洗い出し、スポーツ推進審議会に意見を伺うことにより、本市のスポーツ推進を図ることができた。